

ユビキタスネット社会における官民役割分担について（論点メモ）

1．共通基盤の捉え方

ユビキタスネット社会における様々な社会システムの高度化・効率化を図っていく上で、ICT産業が統一的、共通的に取り組むべき技術基盤として、認証、決済等を挙げる向きもあるが、そうした意見についてどう考えるか。認証、決済以外にも、統一的、共通的に取り組むべき技術基盤として考えられるものはあるか。

2．共通基盤に関する標準化等について

認証、決済等共通の技術基盤について、具体的にどのような標準化、規格化やグランドデザインの策定をイメージするか。
（具体例：緩やかな共通ルール化、インターフェース等具体的な仕様の策定、産業横断的な指針づくり 等）

3．標準化等の策定プロセスにおける官民の役割分担について

認証、決済等共通の技術基盤の標準化等における官民の役割分担はどうあるべきか。
（具体例：民主導・官の側面的支援、官民対等のパートナーシップによる策定、分野によっては官主導の取組 等）

(参 考)

ユビキタスネット社会に向けて対応すべき課題の整理案

(提案1：ユビキタスネット社会への移行に向けて対応すべき課題を階層に分けて抽出し、階層毎に政府として関わるべき範囲等を議論)

ユビキタスネット社会実現に向けての技術体系を、エンタープライズ・アーキテクチャ(EA)を参考に以下の4要素に整理する。

ビジネス・アーキテクチャ：一般的な業務・経営戦略の遂行過程におけるICTの活用。業務プロセスを効率化・合理化するためのBPRやユビキタスネットワークを活用した具体的ビジネス等が該当。基本的に民間主導で実施すべき部分。

データ・アーキテクチャ：業務処理に必要となるデータ及びデータ間の連携を確保するためのICT体系。CADやEDIが該当。データを標準化することが求められるが、各業界では業界団体主導で標準化作業を進められている。全産業を通じたデータ標準化に国の役割が求められる。

アプリケーション・アーキテクチャ：業務処理を実現するために必要となる情報システムと当該業務処理とを連携させるためのICT体系(連携のための設計や構成を含む)。情報システムやアプリケーションソフトが該当。連携の手段・方法については社会全体で共通化(標準化)を図ることがユビキタスネット社会において重要かつ可能となっており、社会全体として最適なSOAを構築する場合には国の関与が求められる。また、行政業務をモジュール化し、認証・決済・セキュリティ・ストレージ等の基盤機能を共通化(プラットフォーム化)して、当該プラットフォームを民間に開放すれば、効率的かつ安全・安心なシステム構築が可能となる。

テクノロジー・アーキテクチャ：ユビキタスネットワークを実現する物理的なハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに係るICT体系。IPv6、無線LANのほか、具体的なネットワーク(光ファイバ)が該当。標準化を行うことは必須であるが、官主導で実施すべき分野と、民の自律に任せるべき分野が混在。

以上を前提に、官民で連携して構築すべき「論理ソリューションレイヤーにおけるプラットフォーム」は、アプリケーション・アーキテクチャにおける認証・決済・セキュリティ等の共通基盤と位置付け、官民の役割を論じてみてはどうか。

対応施策例：電子政府の共通基盤として認証・決済・セキュリティ等(そのほか、可能であればエラー処理、ストレージ、バックアップ、リカバリー等)を単一システムとして構築し、民間に開放する。

(提案 2 : 具体的技術基盤の内容・あり方を議論する)

以下の技術的要求条件を確保する方策を講ずる (ネットワーク設計をする) べきではないか。また、そのために具体的には何を決定すればよいか。

適切な個人認証が技術的に確立されること

例 : 情報端末 (携帯電話) との親和性が高い声紋認証を標準とする 等

個人情報漏洩を防ぐため、個人情報は端末に保存され、ネットワークへの情報提供は厳格に制限されること

映像コンテンツから各種データ、プログラムまで、ネットワークを流通する全ての情報に「属性」が付与されること

例 : 全てのネットワークコンテンツに元本データとコピーデータが明確に区別できる識別コードを付与することを義務づける 等

異なるネットワーク間 (有線・無線を含む) でシームレスな接続が実現されること

利用者に不便さを感じさせないユーザーインターフェースが確立されること

ネットワークの脆弱性が克服されること

例 : ネットワークを不安定にする機器の接続を禁止する 等